

# 持続可能なまちづくりとシェアサイクル



# PULCLE

令和4年12月23日

静岡市 都市局 都市計画部 交通政策課  
自転車のまち推進係

『持続可能なまちづくり』とは

『持続可能な』とは

経済成長、社会的包摂、環境保全が個人と社会の福祉のために調和が取れた状態。

『まちづくり』とは

地域にかかわる多様な主体が、地域社会の資源を基礎とし、居住環境を改善し、地域の活力を高め、生活の質の向上を実現するための継続的な活動。

## 静岡市シェアサイクル事業

 <実施主体>  
 静岡市

 <ブランド協力>  
 (株)エスパルス


S-PULSE

連携

協力

協定締結

 <運営主体>  
 (株)TOKAIケーブルネットワーク  
 (株)トコちゃんねる静岡  
 <プラットフォーム提供企業>  
 OpenStreet (株)


トコちゃんねる静岡


 <メンテナンスパートナー>  
 地元就労支援B型事業所

- ・バッテリー交換
- ・メンテナンス
- ・再配置

委託

## ■フードマーケット マム（スーパー）



## ■静岡ろうきん（銀行）



## ■静岡銀行（銀行）

大学



金融



エネルギー



商業施設



運輸



医療・介護



その他



建設



ステーション数 (R4.12.1現在)

公用地 87箇所

民間地 104箇所

合計 191箇所



# 学生による活用検討

静岡サレジオ高校草薙FC 発表会の様子



ニュース 試合 チケット ファングッズ トップチーム アカデミー クラブ パートナー

**S-PULSE×PULCLE×静岡サレジオ高校草薙フューチャーセンター 『PULCLE』グッズ発売**

2021/6/28 クラブ

**S-PULSE×PULCLE×静岡サレジオ高校草薙フューチャーセンター 『PULCLE』グッズ発売**



©S-PULSE

(株)エスバルは、先日「リーグチャン!アウォーズ2021」にて、「パブリック賞」を受賞をしたシェアサイクル『PULCLE』のグッズを発売します。  
また、このグッズの開発には、『PULCLE』の活動盛り上げに参加している、静岡サレジオ高校の放課後活動『草薙フューチャーセ

## PULCLEで巡る 地元を楽しむプチ観光

10代~20代 必見!!

- 1. 背景と目的**  
コロナ禍の今観光で求められている事として開放感やソーシャルディスタンスなどの感染対策、近場での癒しであると考えました。また若者に地元をもっとよく知ってもらう事を目的とし、若者のSNS等の発信力の高さを活用する事でより安全に地元の事を知ってもらう事を目的としました。
- 2. 調査の概要**  
私達は11月23日に静岡の駿府城公園周辺を調査しました。調査の際には静岡のTOKAIケーブルネットワークが運営しているシェアサイクリングである「パルクル」を利用しました。今回の調査では駿府城公園内の発掘調査現場、紅葉山庭園、カフェの「tea+deli」、奕船、また商店街にある「ななや」を調査しました。
- 3. 【調査内容】**
  - ・パルクルを使った地元ツアーを考えてみました。
  - 【セールスポイント】
  - ・主に若い人に目を向けたのでアクティブ要素や写真映える場所や物を選びました。
  - ・パルクルを使う事でより遠くまで簡単にいく事ができ、感染予防もしっかり行う事ができます。

**PULCLEとは?**  
静岡市を中心にシェアサイクリングを利用できるサービス。街乗りから観光まで様々なシーンで利用できます。

【スケジュール】所要時間 - 4時間半/パルクル料金1000円

11:00	静岡駅北口前広場の駐輪場を出発 移動時間20分程度(自転車)
11:20	駿府城公園内の紅葉山庭園や発掘調査現場を散策
12:30	キッチンカー「tea+deli」で昼食。
13:30	東御門から奕船に乗り、公園を囲む一周。 移動時間10分程度(自転車)
14:30	抹茶のアイスが有名な「ななや」へ。 移動時間20分程度(自転車)
15:30	静岡駅北口前広場の駐輪場に返却して終了。



紅葉山庭園  
・料金110円  
・所要時間1時間

tea+deli  
・料金600円程度  
・所要時間1時間

ななやのアイス  
・料金340円  
・所要時間30分

奕船  
・料金1200円  
・所要時間50分

駿府城発掘調査現場  
・料金・無料  
・所要時間30分程度

TOKAIケーブルネットワーク×静岡英和学院大学  
人間社会学部 人間社会学科  
専門演習I 川崎ゼミ(乗船班)







# 静岡市の自転車の起源

- 1800年代初頭 木馬に車輪を付けた乗り物が誕生。  
～1850年頃 ドライジーネ、ミシヨ一型など改良が進む。  
1860年代 日本に輸入されていた。  
1870年（明治3） オーディナリーと呼ばれる自転車が誕生。  
1877年（明治10） 慶喜公、輸入品の自転車に乗る（静岡県史）  
1879年（明治12） 慶喜公、鉄輪の三輪車を乗用された（静岡市餘録）



しずおか自転車物語より抜粋



しずおか自転車物語より抜粋（松戸市戸定歴史館所蔵）



想像図です。写真を探しています。



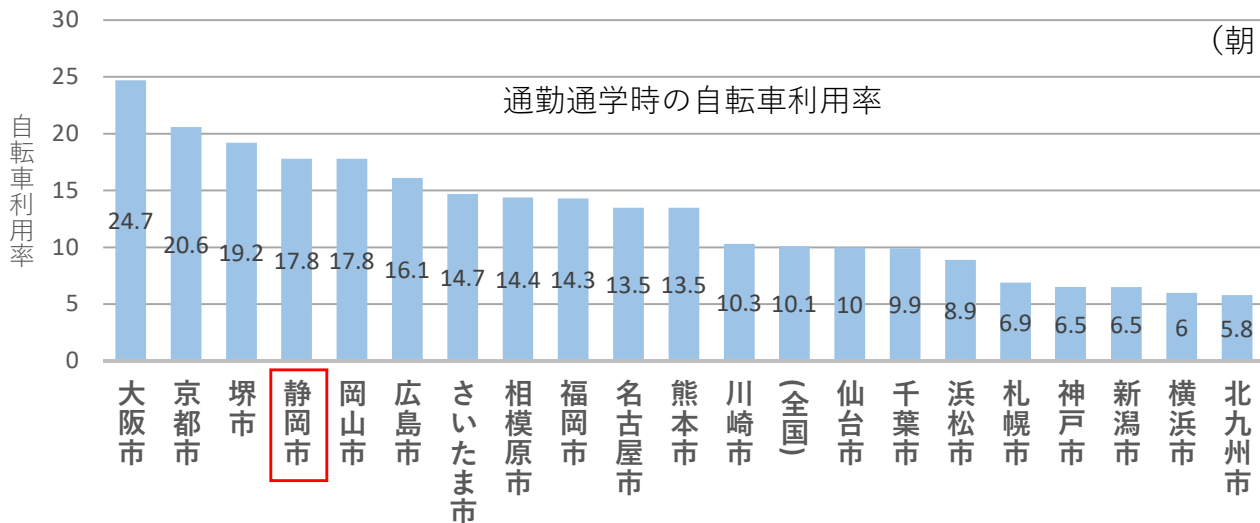
# 静岡市と自転車（「才取り」茶葉取扱業者）



しずおか自転車物語 2 より抜粋  
1934年（昭和9）5月11日 静岡民友新聞



しずおか自転車物語 3 より抜粋  
（朝日新聞社発行「アサヒグラフ」1955.5.25）

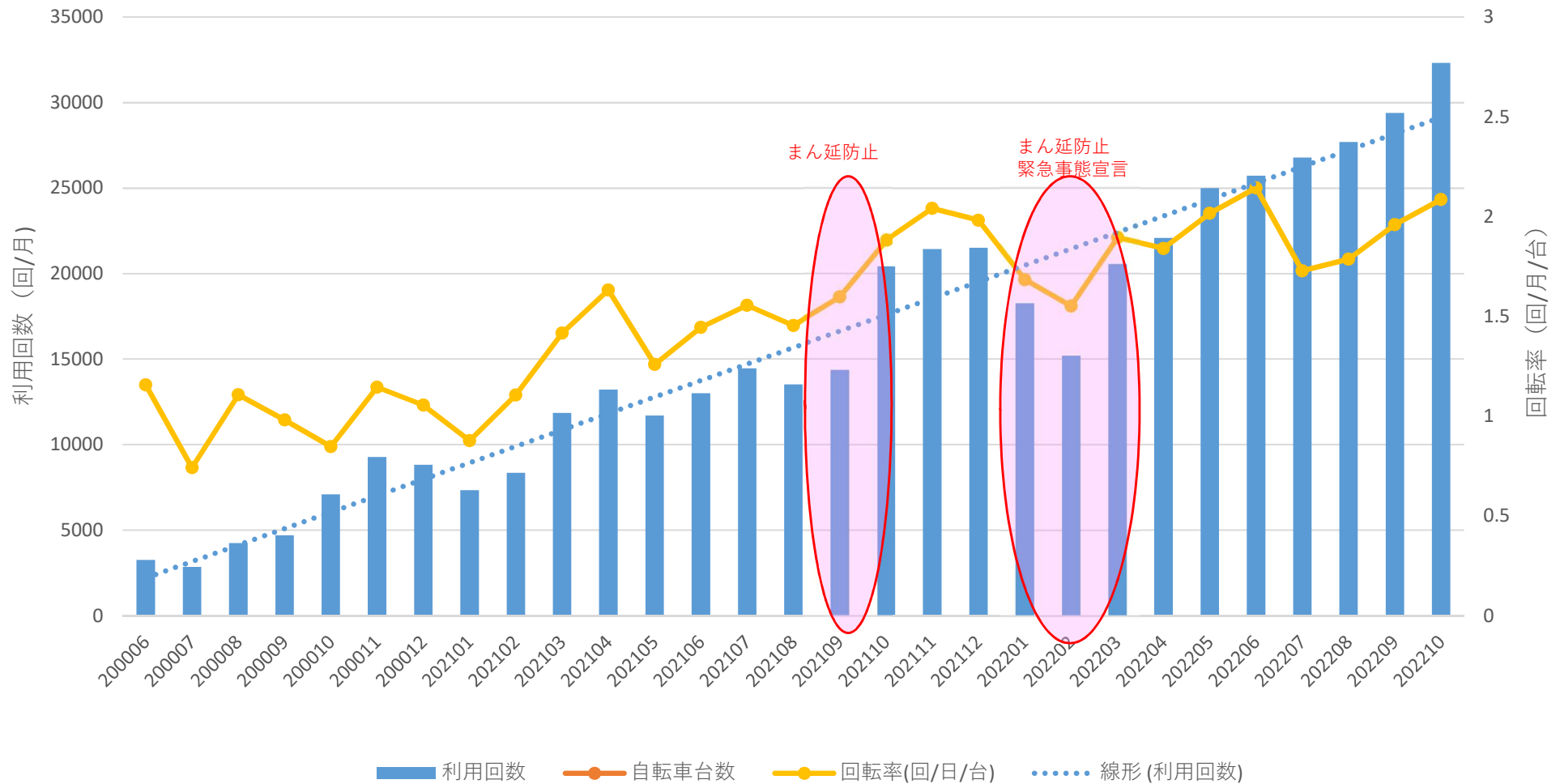


## 利用回数、ステーション数、自転車台数、回転率

・利用回数は令和4年10月32,314回。

導入当初の令和2年6月の3,262回と比較し、**約10倍に増加。**

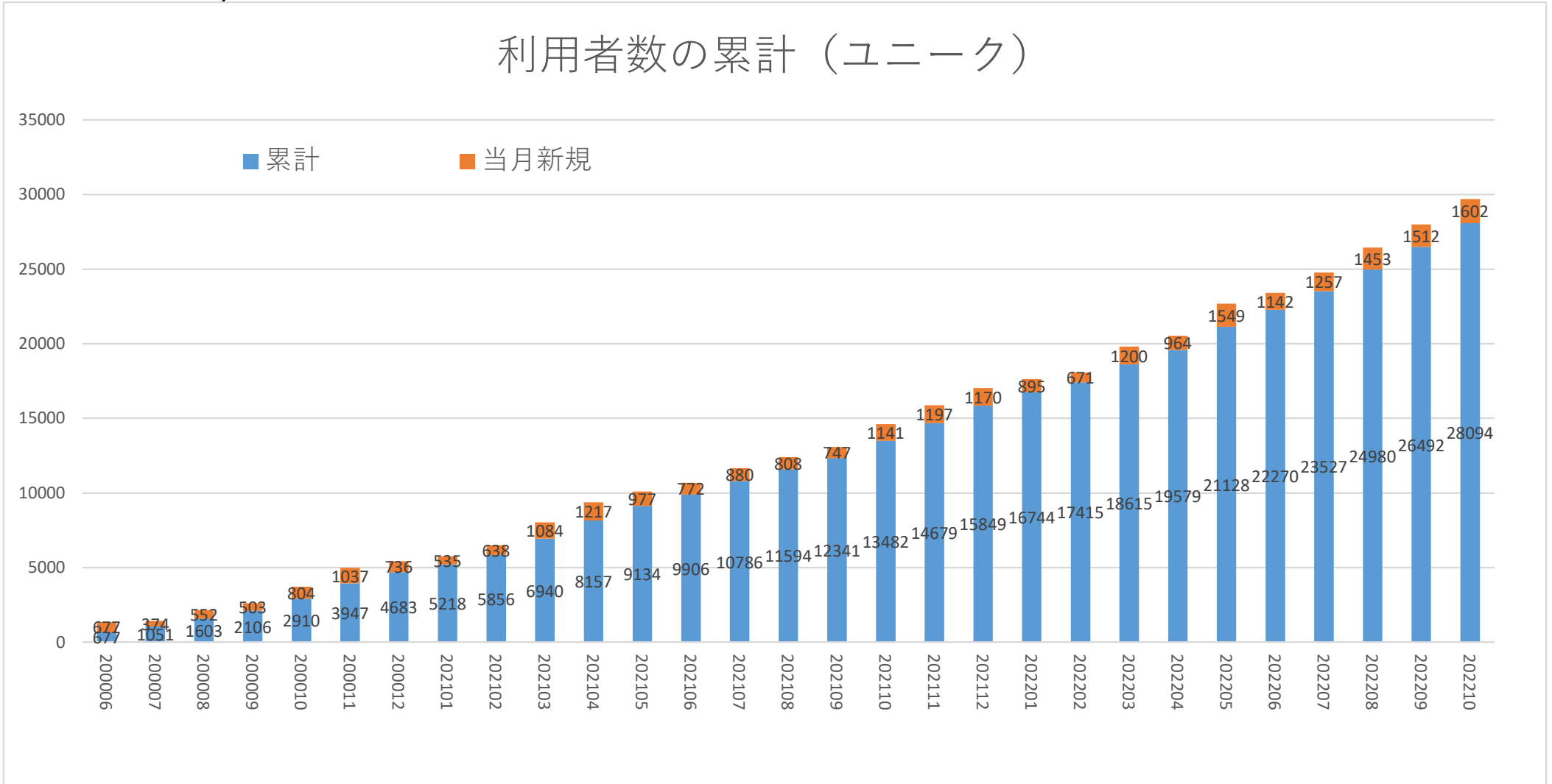
パルクール利用回数/回転率の推移





## ユーザー数

- ・ユーザー数は令和4年10月28,094人。導入当初の令和2年6月の677人と比較し、**約41倍に増加**。
- ・現在も月に1,500人前後の新規登録がある。



# 2021 Jリーグチャレン！アウォーズ受賞



## チャレン！（社会連携活動）とは？

社会課題や共通のテーマ（教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など）に、地域の人・企業や団体（営利・非営利問わず）・自治体・学校などとJリーグ・Jクラブが連携して、取り組む活動です。



## まとめ

# ■ 現代版の『三方よし』を目指して

## 経済

- ・地元企業や団体が、それぞれのリソースを少しずつ提供することで、コストを抑えた運営。
- ・売上が事業者だけでなく、障がい者などへを含め、地元へ循環。
- ・ポート設置による集客効果。もちろん、エスパルスのホームゲームでも大活躍。

## 社会

- ・市民の移動の選択の幅を広げ、多様化する移動ニーズの受け皿に。
- ・障がい者も参画し活躍の場の創出。

## 環境

- ・環境にやさしい乗り物“自転車”をより利用しやすい状態に。
- ・走行データを自転車走行環境改善に活用。

**引き続き、多くの方に参画を促し、行政から市民の『PULCLE』へ。**